

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 人口の動向

#### (1) 総人口

本県の人口は、平成 27 年中に 11,543 人減少し、平成 28 年 1 月 1 日現在で 2,915,030 人となった。人口増減率は $\Delta 0.40\%$ となっている。

人口増減の内訳は、自然動態で 9,149 人の減少（増減率 $\Delta 0.31\%$ ）、社会動態で 2,394 人の減少（同 $\Delta 0.08\%$ ）である。

男女別人口の内訳をみると、男が 5,024 人の減少（増減率 $\Delta 0.35\%$ ）、女が 6,519 人の減少（同 $\Delta 0.45\%$ ）であり、この結果、平成 28 年 1 月 1 日現在で男 1,452,818 人、女 1,462,212 人となっている。（統計表第 4 表）

#### (2) 性比及び人口密度

平成 27 年 10 月 1 日現在の性比は 99.3 であり、前年同月を 0.1 ポイント下回った。

また、平成 27 年 10 月 1 日現在の人口密度は 478.4 人/ $\text{km}^2$ であり、前年同月を 0.7 ポイント下回った。（統計表第 1 表）

#### (3) 地域別人口

市部及び郡部別にみた平成 27 年中の人口増減は、市部が 8,805 人の減少（増減率 $\Delta 0.33\%$ ）、郡部が 2,738 人の減少（同 $\Delta 1.00\%$ ）であった。この結果、平成 28 年 1 月 1 日現在の人口は市部が 2,646,030 人、郡部が 269,000 人となっており、県人口に占める割合は市部が 90.8%、郡部が 9.2%となっている。

次に、県内 5 地域別の人口増減をみると、県北地域が 5,309 人の減少（増減率 $\Delta 0.86\%$ ）、県央地域が 1,857 人の減少（同 $\Delta 0.40\%$ ）、鹿行地域が 807 人の減少（同 $\Delta 0.30\%$ ）、県南地域が 1,091 人の増加（同 0.11%）、県西地域が 4,661 人の減少（同 $\Delta 0.84\%$ ）であった。この結果、各地域の県人口に占める割合は平成 28 年 1 月 1 日現在で県北地域が 21.2%（618,641 人）、県央地域が 16.0%（467,781 人）、鹿行地域が 9.4%（274,510 人）、県南地域が 34.4%（1,001,362 人）、県西地域が 19.0%（552,736 人）となっている。（統計表第 4 表）

#### (4) 市町村別人口

市町村別の人口増減をみると、7 市で増加、37 市町村で減少であった。最も増加数の多い市町村はつくば市（3,117 人）であり、以下、つくばみらい市（1,300 人）、守谷市（519 人）、牛久市（315 人）、神栖市（271 人）の順となっている。

一方、最も減少数の多い市町村は日立市（ $\Delta 2,263$  人）であり、以下、筑西市（ $\Delta 982$  人）、常総市（ $\Delta 908$  人）、土浦市（ $\Delta 839$  人）、常陸太田市（ $\Delta 835$  人）の順となっている。

人口増減率をみると、最も増加率の高い市町村はつくばみらい市（2.72%）であり、以下、つくば市（1.41%）、守谷市（0.81%）、牛久市（0.37%）、神栖市（0.29%）の順となっている。

逆に最も減少率の高い市町村は河内町（ $\Delta 2.52\%$ ）であり、以下、大子町（ $\Delta 2.47\%$ ）、五霞町（ $\Delta 1.88\%$ ）、大洗町（ $\Delta 1.85\%$ ）、美浦村（ $\Delta 1.79\%$ ）の順となっている。（表 - 1）

表-1 市町村別人口増減数と人口増減率順位(平成 27 年)

人口増減数

順位	上位10市町村		下位10市町村	
	市町村名	人口増減数(人)	市町村名	人口増減数(人)
1	つくば市	3,117	日立市	△ 2,263
2	つくばみらい市	1,300	筑西市	△ 982
3	守谷市	519	常総市	△ 908
4	牛久市	315	土浦市	△ 839
5	神栖市	271	常陸太田市	△ 835
6	鹿嶋市	40	石岡市	△ 742
7	水戸市	1	桜川市	△ 727
8	東海村	△ 58	稲敷市	△ 649
9	阿見町	△ 61	笠間市	△ 599
10	ひたちなか市	△ 108	常陸大宮市	△ 598

人口増減率

順位	上位10市町村		下位10市町村	
	市町村名	人口増減率(%)	市町村名	人口増減率(%)
1	つくばみらい市	2.72	河内町	△ 2.52
2	つくば市	1.41	大子町	△ 2.47
3	守谷市	0.81	五霞町	△ 1.88
4	牛久市	0.37	大洗町	△ 1.85
5	神栖市	0.29	美浦村	△ 1.79
6	鹿嶋市	0.06	桜川市	△ 1.69
7	水戸市	0.00	行方市	△ 1.68
8	ひたちなか市	△ 0.07	城里町	△ 1.67
9	阿見町	△ 0.13	常陸太田市	△ 1.58
10	東海村	△ 0.15	稲敷市	△ 1.48

また、市町村の人口規模をみると、平成28年1月1日現在で20万人以上が2市（水戸市、つくば市）10万人以上20万人未満が6市（日立市、ひたちなか市、土浦市、古河市、取手市、筑西市）である。以上8市の合計は1,331,413人であり、県人口の約46%を占めている。郡部では3万人以上5万人未満の町村が3町村、2万人以上3万人未満の町村が2町、1万人以上2万人未満の町村が5町村、1万人未満が2町となっている。（表-2）

表-2 人口規模別市町村数の推移(平成5年～平成28年)

各年1月1日現在 人口（人）	平成	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
	(年)	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
総 数	87	87	86	85	85	85	85	85	85	84	83	83	75	50	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	
市 計	20	20	19	20	20	20	20	20	20	21	22	22	23	30	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	
20万以上	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
10万以上20万未満	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
7.5万以上10万未満	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
5万以上7.5万未満	7	7	6	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	8	8	9	9	9	9	9	8	8	8	8	8	
3万以上5万未満	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	9	10	10	10	10	10	11	10	9	9	9	
3万未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2	2
郡 計	67	67	67	65	65	65	65	65	65	63	61	61	52	20	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	
5万以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3万以上5万未満	13	13	13	12	12	12	12	12	11	11	10	10	10	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
2万以上3万未満	15	15	15	16	15	15	15	15	14	12	11	11	10	6	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	2	
1万以上2万未満	23	24	20	22	23	23	23	23	24	25	25	25	22	7	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	
0.5万以上1万未満	12	11	14	10	10	10	10	10	10	9	9	9	8	3	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	
0.5万未満	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

## 2 自然動態

### (1) 自然増減

平成 27 年中の自然動態は、出生 22,132 人、死亡 31,281 人で 9,149 人の減少となった。自然増減率は△0.31%となっている。

5 地域別の自然増減率をみると、県南地域が△0.15%と最も高く、以下、県央地域△0.28%、鹿行地域△0.29%、県西地域△0.44%、県北地域△0.49%の順となっている。

市町村別の自然増減率については、守谷市が 0.37%と最も高く、以下、つくば市 (0.29%)、神栖市 (0.09%)、つくばみらい市 (0.09%)、牛久市 (0.08%) の順となっている。(表 - 3, 統計表第 6 表)

### (2) 出生

平成 27 年中の出生者数は 22,132 人 (男 11,284 人、女 10,848 人)、出生率は 7.6‰であった。

5 地域別の出生率をみると、県央地域と県南地域が 8.0‰と高く、以下、鹿行地域 (7.9‰)、県西地域 (7.2‰)、県北地域 (6.7‰) の順となっている。

市町村別の出生率をみると、つくばみらい市が 11.2‰と最も高く、以下、つくば市 (10.3‰)、守谷市 (9.6‰)、神栖市 (9.4‰)、東海村 (9.3‰) の順となっている。(表 - 3)

### (3) 死亡

平成 27 年中の死亡者数は 31,281 人 (男 16,352 人、女 14,929 人)、死亡率は 10.7‰であった。

5 地域別の死亡率をみると、県北地域と県西地域が 11.6‰と高く、以下、県央地域 (10.9‰)、鹿行地域 (10.8‰)、県南地域 (9.6‰) の順となっている。

市町村別の死亡率をみると、大子町が 20.6‰と最も高く、以下、河内町 (15.3‰)、常陸大宮市 (15.2‰)、常陸太田市 (15.0‰)、行方市 (14.6‰) の順となっている。(表 - 3)

表-3 自然増減、出生率及び死亡率順位(平成 27 年)

(自然増減率)				
順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	自然増減率(%)	市町村名	自然増減率(%)
1	守谷市	0.37	大子町	△ 1.62
2	つくば市	0.29	河内町	△ 1.16
3	神栖市	0.09	常陸太田市	△ 1.06
4	つくばみらい市	0.09	城里町	△ 0.99
5	牛久市	0.08	行方市	△ 0.96

(出生率)				
順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	出生率(‰)	市町村名	出生率(‰)
1	つくばみらい市	11.2	利根町	3.2
2	つくば市	10.3	河内町	3.7
3	守谷市	9.6	城里町	4.2
4	神栖市	9.4	大子町	4.4
5	東海村	9.3	常陸太田市	4.5

(死亡率)				
順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	死亡率(‰)	市町村名	死亡率(‰)
1	大子町	20.6	守谷市	6.0
2	河内町	15.3	つくば市	7.5
3	常陸大宮市	15.2	牛久市	7.7
4	常陸太田市	15.0	神栖市	8.5
5	行方市	14.6	ひたちなか市	8.6

### 3 社会動態

#### (1) 社会増減

平成 27 年中の社会動態は、転入者数 117,302 人、転出者数 119,696 人で 2,394 人の転出超過となった。社会増減率は $\Delta 0.08\%$ となっている。

市部及び郡部別にみると、市部で 1,214 人の転出超過、郡部で 1,180 人の転出超過となった。5 地域別では、県北地域が 2,272 人の転出超過、県央地域が 519 人の転出超過、鹿行地域が 9 人の転出超過、県南地域が 2,606 人の転入超過、県西地域が 2,200 人の転出超過となった。

市町村別では、転入超過が 10 市 2 町、転出超過が 22 市 10 町村となっている。転入超過の割合が最も高い市町村はつくばみらい市(社会増減率 2.63%)であり、以下、つくば市(同 1.12%)、守谷市(同 0.44%)、牛久市(同 0.30%)、鹿嶋市(同 0.24%)の順となっている。

逆に転出超過の割合が最も高い市町村は河内町(社会増減率 $\Delta 1.35\%$ )であり、以下、美浦村(同 $\Delta 1.26\%$ )、五霞町(同 $\Delta 1.17\%$ )、大洗町(同 $\Delta 1.06\%$ )、常総市(同 $\Delta 1.01\%$ )の順となっている。(表 - 4 , 統計表第 8 表)

## (2) 移動数

平成 27 年中の移動数は 236,998 人、移動率は 8.12%であった。

また、県内市町村間の移動状況をみると、転入者数 49,793 人、転出者数 49,941 人であった。

一方、県外間の移動状況をみると、転入者数 65,059 人、転出者数 64,868 人であった。

市町村別の移動率をみると、美浦村が 15.24%と最も高く、以下、つくば市 (13.16%)、取手市 (11.31%)、つくばみらい市 (10.59%)、守谷市 (10.00%) の順となっている。(表 - 4, 統計表第 8 表)

表-4 社会増減率及び移動率順位(平成 27 年)

社会増減率				移動率					
順位	上位5市町村		下位5市町村		順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	社会増減率(%)	市町村名	社会増減率(%)		市町村名	移動率(%)	市町村名	移動率(%)
1	つくばみらい市	2.63	河内町	△ 1.35	1	美浦村	15.24	大子町	3.84
2	つくば市	1.12	美浦村	△ 1.26	2	つくば市	13.16	常陸太田市	4.51
3	守谷市	0.44	五霞町	△ 1.17	3	取手市	11.31	桜川市	4.62
4	牛久市	0.30	大洗町	△ 1.06	4	つくばみらい市	10.59	城里町	5.04
5	鹿嶋市	0.24	常総市	△ 1.01	5	守谷市	10.00	北茨城市	5.16

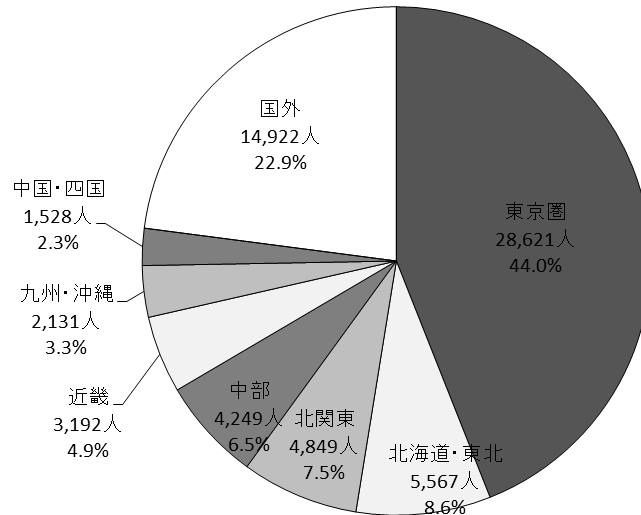
### (3) 地域(都道府県)間移動

#### ① 県外からの転入

平成 27 年中の県外からの転入者 65,059 人について、従前の住所地を全国地域区分別にみると、東京圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）が 28,621 人と最も多く、次いで北海道・東北地方 5,567 人、北関東 4,849 人、中部地方 4,249 人などとなっている。また、国外は 14,922 人となっている。（図 - 5，統計表第 9 表）

都道府県別にみると、東京都が 10,062 人と最も多く、次いで千葉県 8,803 人、埼玉県 5,416 人、神奈川県 4,340 人、栃木県 3,767 人、福島県 1,895 人などとなっている。（統計表第 9 表）

図 5 地域区分別県外転入者数(平成 27 年)

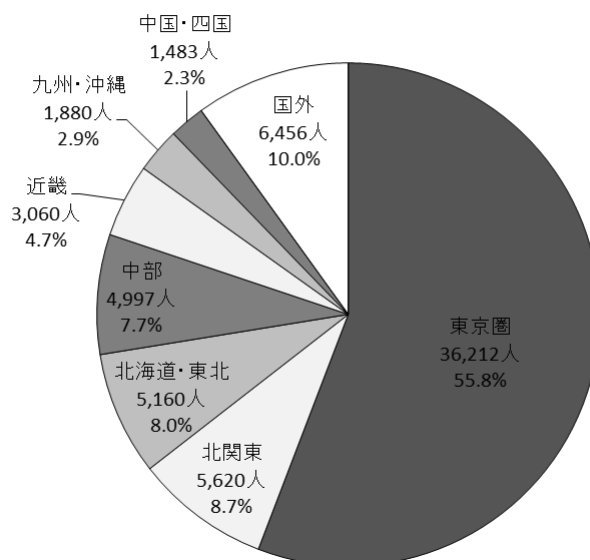


#### ② 県外への転出

平成 27 年中の県外への転出者 64,868 人について、転出先の住所地を全国地域区分別にみると、東京圏が 36,212 人と最も多く、次いで北関東 5,620 人、北海道・東北地方 5,160 人、中部地方 4,997 人などとなっている。また、国外は 6,456 人となっている。（図 - 6，統計表第 10 表）

都道府県別にみると、東京都が 13,630 人と最も多く、次いで千葉県 10,275 人、埼玉県 6,941 人、神奈川県 5,366 人、栃木県 4,003 人、福島県 1,719 人などとなっている。（統計表第 10 表）

図 6 地域区分別県外転出者数(平成 27 年)



### ③ 転入超過

平成 27 年中の本県の都道府県別転入超過数（県外転入者数から県外転出者数を差し引いた数）をみると、本県への転入超過は福島県（176 人）、青森県（128 人）、福岡県（128 人）など 25 道府県で、本県からの転出超過は東京都（3,568 人）、埼玉県（1,525 人）、千葉県（1,472 人）など 21 都県となっている。（表 - 5，統計表第 13 表）

表 - 5 本県と他都道府県との転入超過数順位（平成 26 年，27 年）

【平成26年】					【平成27年】				
順位	上位5都道府県		下位5都道府県		順位	上位5都道府県		下位5都道府県	
	都道府県名	転入超過数(人)	都道府県名	転入超過数(人)		都道府県名	転入超過数(人)	都道府県名	転入超過数(人)
1	青 森 県	162	東 京 都	△ 3,464	1	福 島 県	176	東 京 都	△ 3,568
2	福 島 県	153	千 葉 県	△ 1,222	2	青 森 県	128	埼 玉 県	△ 1,525
3	福 岡 県	114	埼 玉 県	△ 1,177	3	福 岡 県	128	千 葉 県	△ 1,472
4	大 阪 府	96	神 奈 川 県	△ 782	4	岩 手 県	88	神 奈 川 県	△ 1,026
5	山 形 県	95	群 馬 県	△ 337	5	大 阪 府	61	群 馬 県	△ 535
						兵 庫 県	61		

### (4) 地域(県内及び近隣都県)間移動

平成 27 年中の地域間移動数について、県内は 5 地域間、県外は近隣都県別でみると、県内・県外いずれにおいても県南地域の移動数が最も多くなっている。

県内間移動をみると、県南地域では他の 4 地域に対してすべて転入超過であり、県北地域では他の 4 地域に対してすべて転出超過であった。

県外（近隣都県）間移動をみると、近隣都県への転出超過数は東京都が 3,568 人で最も多く、以下、埼玉県（1,525 人）、千葉県（1,472 人）、神奈川県（1,026 人）、群馬県（535 人）、栃木県（236 人）の順となっている。県外に対しての超過数を 5 地域別にみると、県央地域、鹿行地域、県南地域で転入超過であり、県北地域と県西地域で転出超過であった。（表 - 6，統計表第 13 表）



表 - 6 県内及び県外（近隣都県）別地域間移動数及び超過数（平成 27 年）

地 域	茨城県		県北地域		県央地域		鹿行地域		県南地域		県西地域			
	移動数（人）	構成比（%）	移動数（人）	構成比（%）	移動数（人）	構成比（%）	移動数（人）	構成比（%）	移動数（人）	構成比（%）	移動数（人）	構成比（%）		
全体	転入計	114,852	100.0	17,331	100.0	18,286	100.0	10,119	100.0	50,233	100.0	18,883	100.0	
	転出計	114,809	100.0	19,507	100.0	18,482	100.0	9,457	100.0	46,796	100.0	20,567	100.0	
	超過数	43	-	△ 2,176	-	△ 196	-	662	-	3,437	-	△ 1,684	-	
県内	転入者数	県内計	49,793	43.4	9,355	54.0	9,330	51.0	3,579	35.4	20,420	40.7	7,109	37.6
		県北地域	10,327	9.0	5,249	30.3	3,102	17.0	340	3.4	1,324	2.6	312	1.7
		県央地域	9,587	8.3	2,686	15.5	2,934	16.0	648	6.4	2,473	4.9	846	4.5
		鹿行地域	3,811	3.3	260	1.5	686	3.8	1,841	18.2	812	1.6	212	1.1
		県南地域	18,071	15.7	885	5.1	1,996	10.9	586	5.8	12,893	25.7	1,711	9.1
		県西地域	7,997	7.0	275	1.6	612	3.3	164	1.6	2,918	5.8	4,028	21.3
	転出者数	県内計	49,941	43.5	10,357	53.1	9,623	52.1	3,812	40.3	18,109	38.7	8,040	39.1
		県北地域	9,378	8.2	5,272	27.0	2,679	14.5	261	2.8	890	1.9	276	1.3
		県央地域	9,355	8.1	3,107	15.9	2,941	15.9	688	7.3	2,001	4.3	618	3.0
		鹿行地域	3,586	3.1	338	1.7	663	3.6	1,838	19.4	584	1.2	163	0.8
		県南地域	20,464	17.8	1,326	6.8	2,486	13.5	816	8.6	12,903	27.6	2,933	14.3
		県西地域	7,158	6.2	314	1.6	854	4.6	209	2.2	1,731	3.7	4,050	19.7
	超過数	県内計	△ 148	*	△ 1,002	*	△ 293	*	△ 233	*	2,311	*	△ 931	*
		県北地域	949	*	△ 23	*	423	*	79	*	434	*	36	*
		県央地域	232	*	△ 421	*	△ 7	*	△ 40	*	472	*	228	*
		鹿行地域	225	*	△ 78	*	23	*	3	*	228	*	49	*
		県南地域	△ 2,393	*	△ 441	*	△ 490	*	△ 230	*	△ 10	*	△ 1,222	*
		県西地域	839	*	△ 39	*	△ 242	*	△ 45	*	1,187	*	△ 22	*
県外	転入者数	県外総数	65,059	56.6	7,976	46.0	8,956	49.0	6,540	64.6	29,813	59.3	11,774	62.4
		栃木県	3,767	3.3	362	2.1	460	2.5	176	1.7	812	1.6	1,957	10.4
		群馬県	1,082	0.9	149	0.9	229	1.3	48	0.5	395	0.8	261	1.4
		埼玉県	5,416	4.7	566	3.3	805	4.4	327	3.2	2,219	4.4	1,499	7.9
		千葉県	8,803	7.7	738	4.3	1,003	5.5	1,555	15.4	4,464	8.9	1,043	5.5
		東京都	10,062	8.8	1,376	7.9	1,587	8.7	816	8.1	5,010	10.0	1,273	6.7
		神奈川県	4,340	3.8	700	4.0	688	3.8	447	4.4	2,000	4.0	505	2.7
		その他の道府県	31,589	27.5	4,085	23.6	4,184	22.9	3,171	31.3	14,913	29.7	5,236	27.7
		転出者数	県外総数	64,868	56.5	9,150	46.9	8,859	47.9	5,645	59.7	28,687	61.3	12,527
	栃木県		4,003	3.5	417	2.1	520	2.8	124	1.3	814	1.7	2,128	10.3
	群馬県		1,617	1.4	199	1.0	224	1.2	59	0.6	511	1.1	624	3.0
	埼玉県		6,941	6.0	770	3.9	929	5.0	371	3.9	2,706	5.8	2,165	10.5
	千葉県		10,275	8.9	1,040	5.3	1,209	6.5	1,482	15.7	5,325	11.4	1,219	5.9
	東京都		13,630	11.9	2,141	11.0	2,108	11.4	1,020	10.8	6,366	13.6	1,995	9.7
	神奈川県		5,366	4.7	946	4.8	823	4.5	481	5.1	2,352	5.0	764	3.7
	その他の道府県		23,036	20.1	3,637	18.6	3,046	16.5	2,108	22.3	10,613	22.7	3,632	17.7
	超過数		県外総数	191	*	△ 1,174	*	97	*	895	*	1,126	*	△ 753
		栃木県	△ 236	*	△ 55	*	△ 60	*	52	*	△ 2	*	△ 171	*
群馬県		△ 535	*	△ 50	*	5	*	△ 11	*	△ 116	*	△ 363	*	
埼玉県		△ 1,525	*	△ 204	*	△ 124	*	△ 44	*	△ 487	*	△ 666	*	
千葉県		△ 1,472	*	△ 302	*	△ 206	*	73	*	△ 861	*	△ 176	*	
東京都		△ 3,568	*	△ 765	*	△ 521	*	△ 204	*	△ 1,356	*	△ 722	*	
神奈川県		△ 1,026	*	△ 246	*	△ 135	*	△ 34	*	△ 352	*	△ 259	*	
その他の道府県		8,553	*	448	*	1,138	*	1,063	*	4,300	*	1,604	*	

注1) 転入は表側から表頭への、また転出は表頭から表側への移動者数である。

2) 県内の転入者数及び転出者数は、各市町村ごとの転入者数及び転出者数を積み上げ、それを5地域別及び県全体で表したものである。

3) 超過数とは、以下の内容を意味するものである。

- ・表頭から表側に対しては、正の数は転入超過を表し、負の数は転出超過を表すものである。
- ・表側から表頭に対しては、正の数は転出超過を表し、負の数は転入超過を表すものである。

4) その他の道府県には国外を含む。

5) その他の移動者（従前の住所地なし、転出先不明等）数は含まない。

(5) 移動の特徴

【類型】

県外移動型	平成 27 年中の(総移動者数に占める県外移動者数の割合)－(総移動者数に占める県内移動者数の割合)が 5%以上である市町村。
バランス型	平成 27 年中の(総移動者数に占める県外移動者数の割合)－(総移動者数に占める県内移動者数の割合)が±5%の範囲にある市町村。
県内移動型	平成 27 年中の(総移動者数に占める県内移動者数の割合)－(総移動者数に占める県外移動者数の割合)が 5%以上である市町村。

※「総移動者数」には「その他(転入者：従前の住所地が不明又は帰化，転出者：転出先の住所地が不明又は国籍離脱)」は含まれない。

県内の各市町村を平成 27 年中の県外移動率及び県内移動率を基に 3 類型（県外移動型、県内移動型、バランス型）に分けると、県外移動型は鹿行地域や県南地域、県西地域の県境に位置する市町村に多い傾向にあり、県内移動型は県北地域や県央地域に位置する市町村に多い傾向にある。

また、土浦市、常総市、ひたちなか市、潮来市、坂東市、行方市、河内町は県外移動者数と県内移動者数が概ね半々であるバランス型となっている。（図 - 7）

市町村別に県外移動率をみると、五霞町が 83.9%と最も高く、以下、古河市（82.5%）、取手市（76.0%）、神栖市（73.5%）、利根町（69.7%）の順となっている。

また、県内移動率をみると、茨城町が 75.7%と最も高く、以下、那珂市（71.7%）、城里町（70.8%）、常陸太田市（65.5%）、かすみがうら市（61.4%）となっている。（表 - 7、統計表第 8 表）

表 - 7 社会移動における県外移動率、県内移動率順位（平成 26 年、27 年）

【平成26年】					【平成27年】				
順位	県 外		県 内		順位	県 外		県 内	
	市町村名	移動率 (%)	市町村名	移動率 (%)		市町村名	移動率 (%)	市町村名	移動率 (%)
1	五 霞 町	86.4	茨 城 町	75.9	1	五 霞 町	83.9	茨 城 町	75.7
2	古 河 市	82.6	那 珂 市	73.5	2	古 河 市	82.5	那 珂 市	71.7
3	取 手 市	74.7	城 里 町	71.2	3	取 手 市	76.0	城 里 町	70.8
4	神 栖 市	74.0	常 陸 太 田 市	69.4	4	神 栖 市	73.5	常 陸 太 田 市	65.5
5	利 根 町	72.9	高 萩 市	66.0	5	利 根 町	69.7	かすみがうら市	61.4

### (6) 年齢別社会動態

平成 27 年中の県内における年齢別転入及び転出者数を 5 歳階級別にみると、20 歳～24 歳（1,557 人）、25 歳～29 歳（1,674 人）及び 30 歳～34 歳（571 人）において転出超過が多くなっている。転出超過数を各歳別にみると、23 歳が 1,083 人の転出超過（転入 5,220 人、転出 6,303 人）と最も多く、次いで 26 歳が 537 人（転入 4,524 人、転出 5,061 人）、27 歳が 357 人（転入 4,543 人、転出 4,900 人）となっている。（図 - 8、統計表第 14 表）

地域別の社会増減数を 5 歳階級別にみると、県北地域では 20 歳～24 歳、県央地域・鹿行地域・県南地域・県西地域では 25 歳～29 歳の転出超過が多くなっている。（図 - 9、統計表第 14 表）

また、平成 27 年中の県外転入者数と県外転出者数を比較すると、0 歳～14 歳、30 歳～44 歳、60 歳～の各階級で転入超過となっており、15 歳～29 歳、45 歳～59 歳の各階級で転出超過となっている。（図 - 10、統計表第 13 表）

図 8 年齢(5 歳階級)別転入及び転出者数

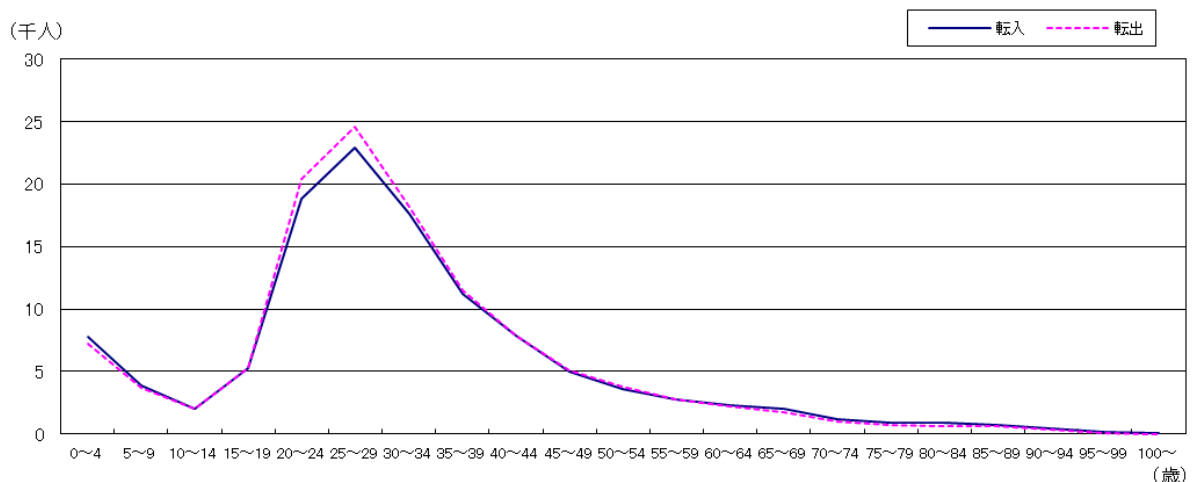


図9 地域及び年齢(5歳階級)別社会増減数

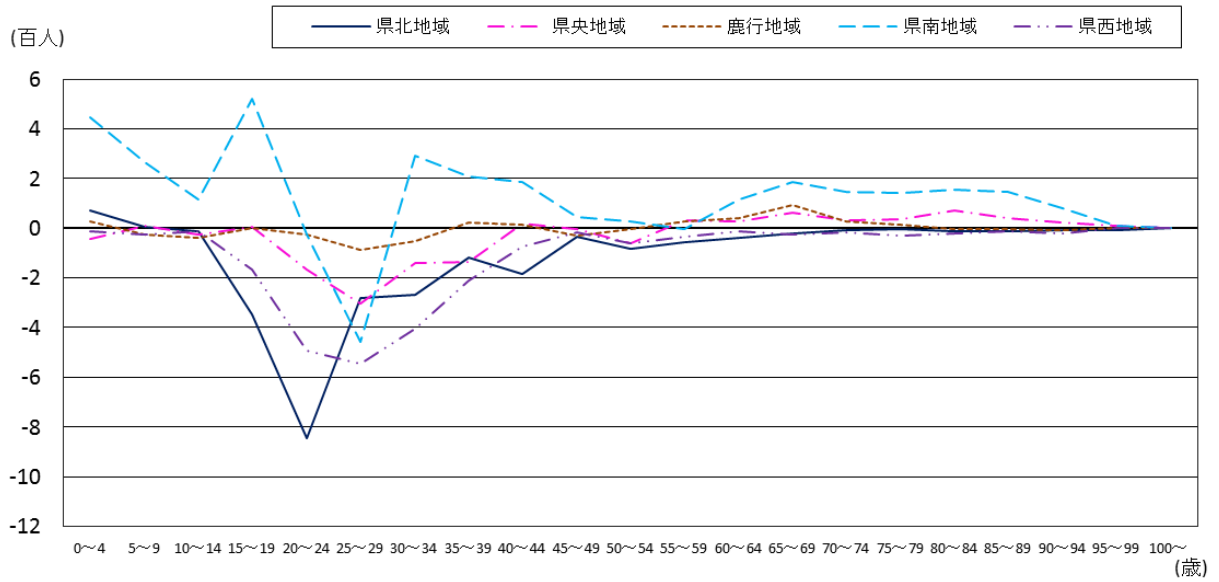
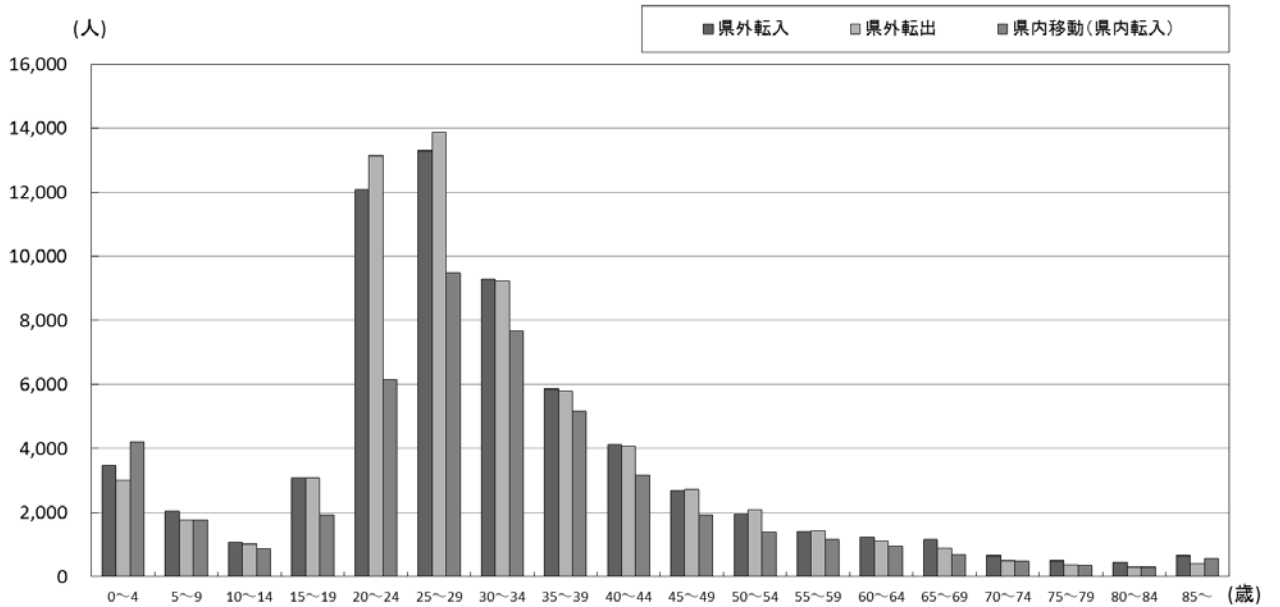


図10 年齢(5歳階級)別移動者数



#### 4 世帯数, 1世帯あたり人員

平成28年1月1日現在の世帯数は1,126,036世帯であり、平成27年中に11,262世帯増加し、増減率は1.00%となっている。(図-11, 統計表第4表)

1世帯あたり人員については、平成27年10月1日現在2.55人となっている。(統計表第1表)

図11 人口増減率及び世帯数増減率の推移

